

施公共設マネジメント推進委員会（第4回） 会議結果

日時 平成28年 9月 2日（金）

場所 市役所 4階 第5会議室

○出席者

委員長 南 学
委員 谷口 元
委員 松山 明
委員 児玉 善郎
委員 神谷 坂敏

○事務局職員

総務部長 内田 徹
行政 GL 山本 時雄
主 幹 杉浦 嘉彦
主 事 大八木 優希

○議題

1. 今年度の取組み内容について

資料1に基づき事務局より説明

主な意見

【本庁舎整備事業について】

- 庁舎がコンパクトになったことから、残りの土地を駐車場以外にも有効活用できたらよいのではないかと。
- 延べ床面積は決まっていて、執務室が狭くなる計画になっているが、他市の事例を見ても必ず収まる。
- カウンターを設置すると市民との境を作ってしまうスペースをとるため、使用の頻度を考慮し、配置を検討し、減らすことも検討するべきである。

2. 高浜小学校等整備事業の進捗状況について

資料2に基づき事務局より説明

主な意見

- 義務教育の施設の建設についての起債制度を国が緩和しないと事業が難しくなる。
- 保育園や老人ホームなどの専用施設は、複合化しても土地を共有できるメリットはあるが、部屋の共有ができるわけではないので、汎用性がある体育館や集会所に比べると複合化のメリットは低いため、こども園を外したことは理解できる。

3. 公共施設マネジメントの市民理解、合意形成のあり方について

資料3に基づき事務局より説明

主な意見

- これだけの説明会を行っている自治体は他にはないと思うが、施設について説明して理解してもらうには限界がある。財源の観点で説明をし、介護や医療など他のサービスに影響を及ぼすことを軸に説明していくべき。
- 各地域の施設が廃止になるとときには住民に具体的な説明をしていかなければならない。
- 施設の廃止について説明する際は、稼働率などの客観的なデータを示していけばより理解してもらえらるはずである。
- 様々な媒体（映像や漫画など）を使って施設の総量圧縮の必要性についてPRを行っていけば、より多くの市民の関心が得られるのではないかと